

イスパニア語学専攻 Spanish Studies



本専攻では、イスパニア語の語学、言語学、およびイスパニア語圏の文学、文化をより深く専門的に学ぶことができます。イスパニア語の習得、イスパニア語教育の専門家を育成するプログラムも用意されています。

Students in our program are trained to perform any professional task related to Spanish language, linguistics, and the literatures and cultures of Spanish-speaking countries.

We also have a graduate program to create specialists of the acquisition and teaching of Spanish language.

授業担当専任スタッフ Academic Staff Profiles (2019年度担当予定 領域別アルファベット順)

Montserrat SANZ(モンセラット サンス)

●教授/Professor

言語学理論、生成文法

(Syntax/Semantics interface, lexicon)

心理言語学(L2 acquisition processes, Sentence Processing, lexicon storage).

川口 正通(かわぐち まさみち) Masamichi KAWAGUCHI

●准教授/Associate Professor

現代イスパニア語の統語論、意味論を専門とし、主に条件文や譲歩文をはじめとした複文の用法について研究をおこなっている。

Modern Spanish syntax and semantics.



修士課程 イスパニア語学専攻 Master's Program / Spanish Studies

Juan ROMERO DÍAZ(ファン ロメロ ディアス)

●准教授/Associate Professor

専門は第2言語としてのスペイン語習得で、主に統語論と意味論の関係性について研究している。

Spanish L2 acquisition, Syntax/Semantics interface



成田 瑞穂(なりた みずほ) Mizuho NARITA

●教授/Professor

カルロス・フエンテスを中心とする20世紀以降のラテンアメリカ文学研究。Latin American literature



野村 竜仁(のむら りゅうじん) Ryuji NOMURA

●教授/Professor

16世紀スペインにおける思想運動と黄金世紀のスペイン文学との関連について研究を行っている。

Spanish Renaissance literature

最近の修士論文等のテーマ Recent Master's Thesis Subjects

- ・ Situación actual y perspectivas futuras para la enseñanza de la lengua española en los institutos de bachillerato de Japón
- ・ Estudio sintáctico-semántico de las expresiones miméticas en las construcciones verbales del japonés y sus correspondencias en español
- ・ La comparación de las obras de Fernando Arrabal y Shuji Terayama sobre la identidad
- ・ Semantic cues in relative clause production by Spanish speakers learning Japanese
- ・ La traducción de "A Collection of Tales from Uji" al español
- ・ La enseñanza del artículo determinado a estudiantes de lenguas carentes de esta categoría gramatical

-神戸市外国語大学の修士課程を選んだ理由を教えてください。

神戸市外大でまず研究生として勉強してから修士課程の受験に挑戦したいと考えました。研究生として指導教員のサンス教授の下で研究をするのは実りが多く、修士課程に進み研究を続けたいとの思いがさらに強くなりました。また、学部にもイスパニア学科があり、スペイン語を学んでいる学生が多いので、研究していく上でも良い環境であると感じました。

-修士課程に入学して以前と大学院に対するイメージはどのように変わりましたか。

修士課程に入学し読まなければならない本や求められる課題も多くなりましたが、研究生での経験があったので、修士課程は慣れた状態でスタートすることができました。そのため、思っていたイメージどおりの大学院生活を過ごせています。

-日本での学生生活を考えている海外の皆さんにメッセージをお願いします。

最初は日本での生活は難しく感じましたが、神戸市外大の先生などお世話になる方々が増え、慣れていくことができました。学生生活は忙しくて大変なことも多いですが、自分のペースでやればものすごくいい経験になると思います。

院生紹介 Message from a Student



エスメラルダ バレイロ ディアス
(1年)
Esmeralda BARREYRO DIAZ